

中川の土手

勝山 汰樹

ばくは、小さいころ、中川の土手で、虫を
 と、たり、散歩をしたりして遊ぶのが好きで
 した。川の方からくる風も、とても気持ち
 良かったのも、覚えています。川にも入って
 みたが、たのですが、汚なくて深くて、とこ
 も入れる川じゃなかったのが、少し残念でし
 た。夏は、花火大会の時に中川の土手の、
 金おけごしは花火をみるのが、たのしかった
 です。とてもめやすい位置だったのですが、
 と気付けなくなってしまった。

でも、土手の工事が始まり、進入禁止にな
 り、土手にいくことができなくなりました。
 工事中は、夏の花火は、家から見る
 事になり、土手の散歩にも行かなくなっ
 て、少し、さみしい気持ちになりました。早
 く工事が終わってほしいと、思っていました。
 でも、堤防を高くしたり、補強したりする事
 は中川の近くに住む人達にとって、大切な



事だと感じます。ぼくも、残念な反面、安心する部分も多くあります。坂も、走るところたりして、遊んでいたけど、草や土のふんいさが無くなり、とても残念に思いました。

ぼくは、提防などが強化されたのは、ありがたけれど、小さいころに、遊んだふいんきなどが無くなったのは、とても残念だと思いました。

